

令和4年度指定管理者評価部会 総括意見

① 公費投入に見合うサービス提供ができているかどうかの検証を行うためにも、施設のビジョンを明確にしていきたい。

② 施設所管課は指定管理者から提出される予算書・決算書のチェックをしっかりと行い、適正に指定管理料が使われているかを評価できるよう、管理・指導していただきたい。また、指定管理者自身にも決算について評価させるべきである。併せて、より精査した決算のチェックを行うため、バランスシート(貸借対照表)を提出させるほうが望ましい。

③ アンケートの集計結果の表示方法についてはパーセンテージで示したほうがよい。また、アンケートの手法を工夫することで、さらなる回収率向上に努めていただきたい。

④ 学校と連携して、市立の小中学校に在籍する児童・生徒が市内の文教施設や社会教育施設をどのくらい利用しているか把握できないか。

⑤ 市は施設設備ごとの利用実態を把握し、市民ニーズ等に応じて、施設全体を有効活用させるよう努めていただきたい。なお、稼働率についてはテニスコートのように同じ設備でも、指定管理者ごとに算出方法にばらつきがあるので、算出方法について整理していただきたい。

⑥ 施設所管課は予告なしで現地調査を実施することで、事業計画に基づいた適切な人員配置や勤務体制となっているかの確認をしていただきたい。

⑦ 市民サービスの提供にあたり、デジタル化を積極的に推進していただきたい。特に施設の利用登録・予約・決済など、改善の余地が大きいと思われる。少なくともクレジット・QRコードのキャッシュレス決済の導入については検討していただきたい。